

町田市スポーツ推進計画19-28アクションプラン (2024～2028年度)

基本目標 1 スポーツへの参加機会の充実

市民のだれもが、いつでも、どこでもスポーツに参加できるよう、生活状況等に応じて多様なアプローチによる施策を推進します。スポーツに親しみきっかけを充実し、健康の保持・増進だけでなく、地域の中で多様な交流の場や機会を生み出していきます。

基本施策(1) 子どものスポーツ推進:

家庭、地域、学校等が連携・協働し、スポーツを好きになり、楽しむきっかけをつくるとともに、体力・運動能力の向上に取り組みます。また、子どもにスポーツの楽しさや魅力を伝えるだけでなく、保護者に向けてスポーツ情報を発信し、スポーツの参加機会を充実していきます。

推進施策:

- ・身体を動かすことに興味を持つきっかけづくり
- ・保護者へのスポーツ啓発
- ・子どもたちがスポーツを楽しめる場所の情報提供

スポーツ推進審議会からご意見を踏まえた前期アクションプランの振り返り等:

スポーツ推進計画策定時において、「スポーツがやや嫌い」と回答する子どもの数を減らしていく取組が重要ではないか、とのご意見があったことから、年少期にスポーツを好きになり、楽しむきっかけに繋がる取組が必要です。前期アクションプランの期間では、新型コロナウイルス感染症の影響から、子どもたちのスポーツ時間が減少する傾向があったものと思われます。後期アクションプランでは、スポーツ離れが進んだ子どもたちが、よりスポーツに興味を持てるよう、取組には工夫が必要ではないか。

前期アクションプランに関するスポーツ推進審議会からの方向性に関するご意見:

- ・様々なスポーツを楽しむ機会を充実する
- ・生涯スポーツに対する理解を促進する
- ・子どものスポーツを支える体制を強化する(部活動地域移行の取組)
- ・スポーツを通じた交流の機会を充実する

指標	現状値 (2022)	目標値 (2028)	整理番号	取組項目	取組内容	取組主体	連携先	指標	現状値 (2023)	2024	2025	2026	2027	2028 【目標値】
「スポーツが嫌い」という回答の割合	小5 8.6% 中2 14.7%	小5 2% 中2 4%	1-1-1	「まちとも※」等と連携した放課後のスポーツ推進	スポーツ推進委員や地域スポーツクラブが「まちとも」やその他の子ども向けの教室等で子どもたちにスポーツの楽しさを伝えます。後期では活動機会をさらに増やしていけるよう、スポーツ機会を提供する場の拡充を図ります。	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員	児童青少年課 まちとも運営協議会	スポーツ推進委員や地域スポーツクラブが地域と連携し子ども向けに機会提供した地区数	3地区	4地区	6地区	8地区	10地区	10地区
			1-1-2	市内10地区のスポーツマップの更新・活用	地域のスポーツが楽しめる場所やスポーツ情報がまとめられた地図を更新し、市内の全小学生に配布します。後期ではさらに、スポーツ推進委員や地域スポーツクラブなどのスポーツ機会を提供する関係団体の情報をあわせて掲載します。	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員 公園緑地課 指定管理者	学校	新たな情報追加地区数	0地区	2地区	4地区	7地区	10地区	10地区
			1-1-3	小学校連合体育大会の開催	市内全小学校が参加する連合体育大会を開催します。	教育委員会 指導課	スポーツ振興課	連合体育大会参加学校数	42校	42校	40校	39校	39校	38校
			1-1-4	トップアスリートとの交流機会の創出	市内外で活躍する町田市ゆかりのトップアスリート等と市民との交流の機会を創出します。後期では、バラスポーツに関わる選手との交流を継続して実施し、夢や希望、憧れの醸成を図ることで子どもたちのスポーツへの興味、関心を高めます。	スポーツ振興課 指定管理者		トップアスリートとの年間交流回数	年17回	17回	17回	17回	17回	17回
			(新規) 1-1-5	部活動の地域連携の推進及び部活動指導員の活用	部活動の地域連携の推進や部活動指導員を活用することで、子どもたちが、スポーツ活動を継続して楽しむことができる機会を確保することを目指します。	教育委員会	スポーツ振興課 スポーツ団体	①町田市における部活動の地域連携に関する方針検討と決定 ②国や都の制度を活用した部活動の地域連携の推進	-	①方針決定 ②検討	①- ②実施	①- ②拡充	①- ②拡充	①- ②拡充
			その他 関連取組	スポーツにチャレンジの開催、町田市こどもマラソン大会の開催、地域スポーツクラブ・スポーツ推進委員・指定管理者によるスポーツ教室の実施										

(1) 子どものスポーツ推進

※ 「まちとも」・・・町田市放課後等子ども遊び場見守り事業です。放課後に子どもたちが安心して過ごす居場所をつくるため、大人に見守られ過ごすことのできる自由来所型の活動。(市内小学校で実施)

町田市スポーツ推進計画19-28アクションプラン (2024～2028年度)

基本施策(2) 働き盛り世代・子育て世代のスポーツ推進:

個々の状況に応じて健康の保持・増進など、スポーツを実施するきっかけづくりに取り組みます。また、従業員の健康管理や健康づくりに配慮した「健康経営」に取り組む企業と連携し、働き方や子どもの成長に伴う生活の変化に応じているでも、どこでもスポーツを楽しむことができる環境の整備に取り組みます。

推進施策:

- ・事業所によるスポーツの取組の推進
- ・日常生活や子育て中のスポーツ啓発(意識して身体を動かすこと)

スポーツ推進審議会からご意見を踏まえた前期アクションプランの振り返り等:

年代別のスポーツ実施率をみると、40歳代が最も低く54.6%、30歳代が55.4%と、次に低くなっています。また、スポーツを行わなかった理由として、「機会がなかったから」「仕事が忙しくて時間がなかったから」「家事・育児が忙しくて時間がなかったから」といった点が上位にあげられます。審議会の中で、前期アクションプランの期間は新型コロナウイルス感染症の影響からリモートワークが進み、働き盛り世代のスポーツをする時間が増加傾向にあったのではないかというご意見がありました。徐々にリモートワークの実施率が減少していることから、時間や場所を問わないスポーツ機会や、子育てをしながら参加できるスポーツ機会の提供等が求められています。

前期アクションプランに関するスポーツ推進審議会からの方向性に関するご意見:

- ・親子でスポーツを観戦する機会を充実する
- ・ライフスタイル・ライフステージに応じたスポーツの場や機会を充実する
- ・ICTを活用したスポーツを推進する
- ・市内の事業者が従業員向けにスポーツの機会を充実する取組を支援する
- ・市内の事業者と連携して、スポーツの場や機会の充実、普及啓発を促進する

(2) 働き盛り世代・子育て世代のスポーツ推進

指標	現状値(2023)	目標値(2028)	整理番号	取組項目	取組内容	取組主体	連携先	指標	現状値(2023)	2024	2025	2026	2027	2028【目標値】
30~49歳のスポーツ実施率	男性 54.9% 女性 58.8%	男性 70% 女性 70%	1-2-1	従業員の健康増進のためにスポーツ活動の促進に取り組みたいと考える企業へのスポーツ情報等の提供	市内企業を対象として健康経営の必要性を啓発し、事業所によるスポーツ推進の取組を支援するため、関連する情報や、スポーツ機会を提供します。	スポーツ振興課 指定管理者	産業政策課 商工会議所 民間事業者 公園緑地課	機会提供回数	2回	調整	2回	4回	8回	10回
			(新規) 1-2-2	ホームページやSNS等多様な媒体・手段を活用した運動動画等の情報発信	SNS等を情報源とする世代の方を主な対象とし、時間や場所を選ばずにできる運動動画や、スポーツ施設等の情報を発信することで、スポーツをする機会を持ちやすくなるよう働きかけます。その他、スポーツに関わる様々な情報を発信することで、スポーツ自体への関心が高まるよう働きかけます。	スポーツ振興課 指定管理者 ホームタウンチーム	商工会議所 市内企業	運動関連動画等の発信数	60件	60件	60件	60件	60件	60件
			1-2-3	家族で参加できるスポーツイベントの開催	すばーつ祭まちだや市民体力テスト等のイベントを実施し、家族で参加できるスポーツイベントを開催します。後期では、より多くのイベントで、親子と一緒にスポーツを楽しめるよう工夫し、子育て世代の方のスポーツ実施率が向上するよう、取り組みます。	スポーツ振興課 スポーツ推進委員 体育協会 指定管理者	ホームタウンチーム まちだサポーターズ	①すばーつ祭まちだ参加者数 ②市民体力テスト年間参加者数	①延べ2700人 ②年172人	①延べ2700人 ②年180人	①延べ2700人 ②年180人	①延べ2700人 ②年180人	①延べ2700人 ②年180人	①延べ2700人 ②年180人
			その他 関連取組	指定管理者によるスポーツ教室の実施、生活習慣病予防を目的とした健康づくり教室の実施										

基本施策(3) 高齢者のスポーツ推進:

予防医療や健康づくり、いきがいにつながるスポーツを推進していくとともに、スポーツを通じた地域の仲間づくりや子・孫等との多世代交流の機会をつくります。また、スポーツの魅力を発信し、「する」だけでなく、「みる」「支える」スポーツについても、興味関心を喚起する取組を充実していきます。

推進施策:

- ・スポーツを通じた地域参加のきっかけづくりと世代間交流の促進
- ・自主的に活動するグループへの新たな取組の働きかけ

スポーツ推進審議会からご意見を踏まえた前期アクションプランの振り返り等:

前期アクションプランの期間では、2019年に男性35.6%・女性29.6%、2020年に男性19.0%・女性25.2%、2021年には男性15.1%・女性24.2%と、70歳以上のスポーツをしていないという回答の割合は、男女ともに減少し、特に男性で顕著でしたが、2022年では、男性の数値が16.0%となり、2021年に比べるとやや悪化しています。後期アクションプランでは、改めて、地域での仲間づくりや、子や孫など、他世代との交流につながる機会を提供し、回答の割合の減少につなげていくことが求められています。なお、男性の方の数値は2022年時点で2028年度目標(設定時点:2018年)を達成できていますが、16.0%からのさらなる減少を目指します。

前期アクションプランに関するスポーツ推進審議会からの方向性に関するご意見:

- ・ライフスタイルが変化するタイミングの層にむけたスポーツの場や機会を充実する
- ・ICTを活用したスポーツを推進する
- ・紙媒体での情報発信を強化する
- ・スポーツを通じた交流の機会を充実する

(3) 高齢者のスポーツ推進

指標	現状値(2023)	目標値(2028)	整理番号	取組項目	取組内容	取組主体	連携先	指標	現状値(2023)	2024	2025	2026	2027	2028【目標値】
70歳以上の「スポーツをしない」という回答の割合	男性 25.0% 女性 25.8%	男性 18% 女性 21%	1-3-1	高齢者へのニュースポーツ※啓発	スポーツ推進委員がニュースポーツを普及し、高齢者の活動でスポーツの面白さ、楽しさを伝えます。	スポーツ振興課 スポーツ推進委員	高齢者福祉課 高齢者支援センター 町田市レクリエーション連盟	高齢者支援センターと連携して事業を実施した回数	5回	6回	7回	8回	9回	10回
			1-3-2	温浴施設等を活用したスポーツ環境の充実	室内プールや、併設する温浴施設を活用し、スポーツ教室等を通じて地域の仲間づくりや多世代交流の機会を創出します。後期では、スポーツ習慣がない高齢者の方でも参加しやすい教室事業を定期的実施することで、高齢者のスポーツ推進を図ります。	スポーツ振興課 指定管理者		高齢者の方がより参加しやすい教室の実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
			その他 関連取組	地域スポーツクラブ・スポーツ推進委員・指定管理者によるスポーツ教室の実施										

※ ニュースポーツ・・・技術やルールが比較的簡単で、子どもから高齢者まで幅広い層を対象に「誰もが容易に楽しめる」ことを目的として考案されたスポーツ。

町田市スポーツ推進計画19-28アクションプラン (2024～2028年度)

基本施策(4) 障がい者のスポーツ推進：

障がいの有無に関わらずいつでも、どこでもスポーツを楽しむことができる環境を整備するとともに、魅力を発信し、障がい者スポーツの観戦・実施にむけた興味関心を喚起する取組を充実していきます。2021年度に開催された、東京2020オリンピック・パラリンピック大会の開催等を契機として共生社会の実現を目指し、障がい者スポーツの普及啓発に取り組みるとともに、障がいのある市民のスポーツ実施率向上にむけたニーズ等の把握に努めていきます。

推進施策：

- ・障がい者のスポーツ参加機会の提供
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック大会開催を契機とした障がい者スポーツの普及啓発

スポーツ推進審議会からご意見を踏まえた前期アクションプランの振り返り等：

前期アクションプランの期間においては、東京2020オリンピック・パラリンピック大会を契機としたパラスポーツの機運醸成や、共生社会の実現等が期待され、一定の成果はあったと考えられますが、後期アクションプランにおいては、高まった機運をさらに広めていくため、パラスポーツへの理解・関心、また障がいのある方でも実施できるスポーツ機会の提供等がより重要となっています。

前期アクションプランに関するスポーツ推進審議会からの方向性に関するご意見：

- ・インクルーシブスポーツの取組を充実する
- ・障がい者スポーツを支える人材の活動・活躍の場や機会を充実する
- ・障がいの有無に関わらず、競技スポーツを推進する子どもをサポートする取組を充実する

（４）障がい者のスポーツ推進

指標	現状値 (2023)	目標値 (2028)	整理番号	取組項目	取組内容	取組主体	連携先	指標	現状値 (2023)	2024	2025	2026	2027	2028 【目標値】
「障がい者のスポーツに関わった」という回答の割合	7.2%	15%	1-4-1	スポーツ・レクリエーション教室等の開催	障がい者（児）スポーツ教室を開催し、スポーツを楽しめる環境を整えます。	障がい福祉課 子ども発達支援課 指定管理者	スポーツ振興課	年間開催回数 ①障がい児スポーツ教室（体育館、プール） ②指定管理者等による教室・イベント事業	①体：33回 プ：30回 ②30回	①体：36回 プ：36回 ②30回	①体：36回 プ：36回 ②32回	①体：36回 プ：36回 ②34回	①体：36回 プ：36回 ②37回	①体：36回 プ：36回 ②40回
			1-4-2	小学生を対象とした障がい者スポーツ体験教室開催	市内の小学校で、障がい者スポーツの体験教室キャラバンを行います。	スポーツ振興課	学校 競技団体	年間参加者数	1,116人	1,200人	1,200人	1,200人	1,200人	1,200人
			1-4-3	障がい者のスポーツ参加機会の提供	インクルーシブスポーツ※を推進し、障がい者にスポーツ施設開放利用の周知をすることにより、利用者数を増やします。	指定管理者 スポーツ振興課	障がい福祉課 公園緑地課	スポーツ施設開放年間利用者数	年8,337人	年9,200人	年9,400人	年9,600人	年19,800人	年20,000人
			(新規) 1-4-4	障がい者スポーツ大会の開催	市内福祉施設の障がい者及び個人参加の障がい者を対象として、障がい者スポーツ大会を実施します。	障がい福祉課 スポーツ振興課 スポーツ推進委員		開催回数	1回	1回	1回	1回	1回	1回
			(新規) 1-4-5	(仮称) 町田木曽山崎パラアリーナを活用したパラスポーツに関する機会の提供	(仮称) 町田木曽山崎パラアリーナを活用し、パラスポーツに関わる様々な機会を提供し、障がい者のスポーツ推進や、パラスポーツの普及啓発に取り組み、共生社会の実現を目指します。	スポーツ振興課 施設管理者	スポーツ振興課 施設管理者	施設を活用した機会提供の実施	—	—	事業検討	事業検討	実施	実施

※ インクルーシブスポーツ・・・子どもから高齢者まで、障がい者も健常者も一緒に楽しめるスポーツ。

町田市スポーツ推進計画19-28アクションプラン (2024~2028年度)

基本目標2 スポーツに関わる人材と組織の充実

市民の誰もが身近な場所でスポーツを楽しむきっかけをつくる人材と組織を支援します。
 スポーツ関係団体をはじめ、町内会・自治会等とも組織間の情報共有や協働の取組を推進し、スポーツを支える人材と組織を充実させる取組を推進します。

基本施策(1) スポーツを支える人材の育成:

競技面での指導力の向上に限らず、ボランティアへの参加促進や障がい者スポーツへの理解促進といった普及啓発の取組等を通して、スポーツを「支える」人材を育成していきます。
 人材育成にあたっては、町田市近隣に位置する大学等の教育機関、市内の民間事業者、スポーツ関係団体のほか、町内会・自治会等とも連携し、地域に根差したスポーツ活動を支援していきます。

推進施策:

- ・大学連携を推進し、学生が地域で活動できる環境を整える
- ・スポーツ推進委員と地域との連携強化
- ・スポーツボランティアの活躍推進

スポーツ推進審議会からご意見を踏まえた前期アクションプランの振り返り等:

まちだサポーターズは、スポーツ祭東京2013(東京国体)を契機に発足し、前期アクションプランの期間においては、「東京2020オリンピック・パラリンピック大会」での活躍を目標に活動が続けられてきました。後期アクションプランにおいては、今後もスポーツに関するボランティア活動が継続されるよう、さらなる活動の充実をはかる必要があります。
 また、中学校部活動の地域移行について、国の検討部会から提言などが出されことから、今後、地域のスポーツ指導者の需要が高まることが予測されます。市内の大学や企業との連携、指導者が所属する団体や、地域でスポーツ機会を提供する各団体、(体育協会、スポーツ推進委員、地域スポーツクラブ)との情報共有等により、指導者の確保や、質を高めることが求められます
 ※(基本施策(1)、(2)共通です)

前期アクションプランに関するスポーツ推進審議会からの方向性に関するご意見:

- ・産官学連携により人材の育成、活躍の場や機会の拡充の取組む
- ・経済団体と連携した取組を充実する

※(基本施策(1)、(2)共通です)

(1) スポーツを支える人材の育成

指標	現状値(2023)	目標値	整理番号	取組項目	取組内容	取組主体	連携先	指標	現状値(2023)	2024	2025	2026	2027	2028【目標値】
スポーツに関するボランティアを行った割合	3.7%	15%	2-1-1	大学・企業連携によるスポーツを支える人材の派遣	大学・企業連携により、子どもの遊びやスポーツ指導等、学生や民間企業が地域で活動する環境を整えます。後期ではさらに、大学や企業にボランティア活動に関する情報を積極的に発信することで、スポーツを支える人材の拡充を図ります。	スポーツ振興課	企画政策課 大学 民間事業者 小中学校 教育委員会 子ども生活部	連携団体数	7団体	7団体	7団体	8団体	9団体	10団体
			2-1-2	まちだサポーターズの活動機会の充実	スポーツ祭東京2013を契機としたスポーツボランティア「まちだサポーターズ」が活躍できる環境を整え、活動参加者数を増やします。	スポーツ振興課	まちだサポーターズ	年間延べ活動参加者数	年 3,384人	年 3,400人	年 3,400人	年 3,400人	年 3,400人	年 3,400人
			2-1-3	地域密着型スポーツ推進委員の育成	スポーツ推進委員が地域と連携し活動できるよう、市内10地区に均等に配置します。後期では、町内会自治会等の様々な地域団体と連携することで、地域の中での活動を広げ、地域のスポーツ活動の充実を図ります。	スポーツ振興課 スポーツ推進委員	地区協議会 町内会自治会 まちだサポーターズ ボランティアコーディネータ	スポーツ推進委員が町内会自治会等と連携した地区数	3地区	4地区	5地区	6地区	8地区	10地区(市内全域)
			その他 関連取組	有資格指導者データベースの作成・情報提供										

基本施策(2) スポーツを支える団体の支援・育成:

スポーツ関係団体だけでなく、町内会・自治会等主たる活動目的がスポーツではない団体との連携に取り組みむとともに、団体間の情報共有、連携・協働の機会をつくり「スポーツで人とまちが一つになる」という将来の姿の実現を目指します。

推進施策:

- ・スポーツを支える団体と市によるスポーツ推進のビジョンの共有
- ・スポーツを支える団体間の連携促進

(2) スポーツを支える団体の支援・育成

指標	現状値(2023)	目標値	整理番号	取組項目	取組内容	取組主体	連携先	指標	現状値(2023)	2024	2025	2026	2027	2028【目標値】
各主体が連携・共同して実施した事業の数	5回	10回	2-2-1	地域スポーツクラブの活動支援と地域活動の推進	地域スポーツクラブの活動を支援し、地域と連携した活動の定着を図ります。後期では、町内会自治会や小学校等の様々な地域コミュニティと連携することで、地域の中での活動を広げ、地域のスポーツ活動の充実を図ります。	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ	スポーツ推進委員 学校 町内会自治会	町内会自治会や小中学校等、地域コミュニティと連携したクラブ数	5クラブ	7クラブ	8クラブ	9クラブ	10クラブ	10クラブ(市内全域)
			2-2-2	【再掲】 家族で参加できるスポーツイベントの開催	すばーつ祭まちだや市民体力テスト等のイベントを実施し、家族で参加できるスポーツイベントを開催します。後期では、より多くのイベントで、親子で一緒にスポーツを楽しめるよう工夫し、子育て世代の方のスポーツ実施率が向上するよう、取り組みます。	スポーツ振興課 スポーツ推進委員 体育協会 指定管理者	ホームタウンチーム まちだサポーターズ	①すばーつ祭まちだ参加者数 ②市民体力テスト年間参加者数	①延べ2700人 ②年172人	①延べ2700人 ②年180人	①延べ2700人 ②年180人	①延べ2700人 ②年180人	①延べ2700人 ②年180人	①延べ2700人 ②年180人
			2-2-3	まちだサポーターズの組織化	まちだサポーターズを組織化し、スポーツイベントの運営に欠かせない存在に育成します。後期では、まちだサポーターズが今後も組織として活動を継続できるよう、スキルアップ研修の実施等により、支援します。	スポーツ振興課	スポーツ振興課	まちだサポーターズの育成に関するスキルアップ研修やミーティングの実施状況	実施	実施	実施	実施	実施	実施

町田市スポーツ推進計画19-28アクションプラン (2024~2028年度)

基本目標3 スポーツ環境の充実

市民が生活に身近な場所でスポーツに親しむことができるよう、「する」と「みる」視点からスポーツ環境の充実に取り組んでいきます。「する」「みる」視点で市民の行動の変化を生み出すとともに、行動を継続したくなる環境の整備にも取り組めます。

基本施策(1)「する」スポーツ環境の充実:

スポーツを実施できていない市民に対して、生活等の状況に応じて行動や意識を変える取組を行うとともに、公園等の公共施設を活用したり、やスポーツ広場等をより一層市民の誰もが利用しやすい環境として整備していくことで、地域のスポーツ環境を充実していきます。また、学校等と連携・協働し、子どもが安全かつ安心してスポーツを行うことができる場や機会を拡充していきます。スポーツ関係団体のほか市内の学校等、民間事業者、町内会・自治会等との連携を拡大し、市民のスポーツ実施にむけ、多様なアプローチで取り組んでいきます。

推進施策:

- 市民の身近なスポーツをする場の拡充
- ※子どもにとっての放課後の「学校」や身近な公園など、スポーツ施設に分類されない「場」を含む。

スポーツ推進審議会からご意見を踏まえた前期アクションプランの振り返り等:

「スポーツに関する市民意識調査アンケート」によると、「今後、町田市のスポーツ施設に求めることはありますか」という質問で、「身近なところで利用できる施設の新設」が37.8%と最も多い結果となっています。市民の誰もが身近な場所でスポーツを実施できるよう、今後も継続してスポーツ施設の整備を進めていく必要があります。

前期アクションプランに関するスポーツ推進審議会からの方向性等に関するご意見:

- 障害の有無に関わらず、市民の誰もがスポーツに取り組める場を整備・拡充する
- 老朽化しているところは改めて整備を行うことも必要である

指標	現状値(2023)	目標値	整理番号	取組項目	取組内容	取組主体	連携先	指標	現状値(2023)	2024	2025	2026	2027	2028【目標値】
「子どものスポーツや外遊びの環境が悪くなった」という回答の割合	43.8%	25%	3-1-1	【再掲】「まちとも※」等と連携した放課後のスポーツ推進	スポーツ推進委員や地域スポーツクラブが「まちとも」やその他の子ども向けの教室等で子どもたちにスポーツの楽しさを伝えます。後期では活動機会をさらに増やしていけるよう、スポーツ機会を提供する場の拡充を図ります。	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員	児童青少年課 まちとも運営協議会	スポーツ推進委員や地域スポーツクラブが地域と連携し子ども向けに機会提供した地区数	3地区	4地区	6地区	8地区	10地区	10地区
			3-1-2	大規模スポーツ広場6箇所を含む、調整池、公園・学校予定地等におけるスポーツ施設整備	大規模なスポーツ広場は公のスポーツ施設として整備し、その他の施設は市民利用を拡大します。	スポーツ振興課 公園緑地課	施設課 営繕課 下水道総務課 スポーツ広場管理運営委員会	スポーツ施設数(公の施設)	40施設	40施設	40施設	42施設	43施設	43施設
			3-1-3	【再掲】市内10地区のスポーツマップの更新・活用	地域のスポーツが楽しめる場所やスポーツ情報がまとめられた地図を更新し、市内の全小中学生に配布します。後期ではさらに、スポーツ推進委員や地域スポーツクラブなどのスポーツ機会を提供する関係団体の情報をあわせて掲載します。	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員 公園緑地課 指定管理者	学校	新たな情報追加地区数	0地区	2地区	4地区	7地区	10地区	10地区
			3-1-4	公園のスポーツ利用の促進	2023年度に完成させた市内全10地区スポーツマップの情報更新などを行い、地域の身近なスポーツができる場の情報提供を行います。	スポーツ振興課 公園緑地課		最新情報の更新、新規掲載施設への対応(既存注意喚起看板の文言修正、新たな設置など)	-	更新対応	更新対応	更新対応	更新対応	更新対応
			3-1-5	夜間照明設備の設置	夜間照明設備を設置することにより利用時間の延長を行います。	スポーツ振興課 公園緑地課	学校教育部 小中学校 営繕課	夜間照明設置	9施設	9施設 検討	9施設 検討	9施設 検討	9施設 検討	9施設 検討
			3-1-6	大学・企業連携によるスポーツ施設の市民利用拡大	大学・企業連携により、各団体が所有するスポーツ施設を市民が利用できるようにします。	スポーツ振興課	企画政策課 大学	連携団体数	2団体	新規2団体 調整	新規2団体 テスト利用	新規2団体 市民利用開始	新規開拓	4団体
			(新規) 3-1-7	野津田公園スポーツの森の整備	自然の中で楽しむ総合スポーツパークを目指した第二次野津田公園整備基本計画に基づき、幅広いスポーツやレクリエーションを楽しめるように野津田公園全体を再整備します。第2期整備区域であるパークセンターゾーンの設計及び整備工事に着手します。	公園緑地課		スケートパーク(パークセンターゾーンの一部)の整備	基本設計完了	実施設計	整備工事	整備完了	-	-
			(新規) 3-1-8	忠生スポーツ公園の整備	最終処分場の上部を活用し、スポーツ施設などの整備を行うことで、多世代が集える公園として活用を図ります。峠谷地区(旧埋立地を含む)に複数のスポーツ施設を整備します。	公園緑地課		峠谷地区の整備	-	-	-	基本設計	実施設計	整備工事
			その他 関連取組	スポーツ施設改修に伴う施設の機能向上(野津田公園照明改修、総合体育館改修)										

※ 「まちとも」・・・町田市放課後等子ども遊び場見守り事業です。放課後に子どもたちが安心して過ごす居場所をつくるため、大人に見守られ過ごすことのできる自由来所型の活動。(市内小学校で実施)

「みる」スポーツ環境の充実

基本施策(2)「みる」スポーツ環境の充実：

ホームタウンチームや市内のスポーツ関係団体と協働してスポーツを直接観戦する楽しさを伝えるとともに、ホームタウンチームの試合をはじめとした市民が「みる」スポーツを楽しめる場づくりに取り組みます。
また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等の国際大会におけるパブリックビューイングなど、「みる」スポーツをきっかけとして人が集まり交流する機会をつくることで、地域のにぎわいづくりに取り組んでいきます。

推進施策：

- ・市民のにぎわいの創出に繋がる施設整備
- ・ホームタウンチームが活動しやすい施設整備
- ・スポーツ観戦によるオール町田の一体感の創出

スポーツ推進審議会からご意見を踏まえた前期アクションプランの振り返り等：

前期アクションプランの期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、無観客による開催や、試合会場への入場制限などが多くあり、年間観客者数がコロナ前の半分以上にまで下がった時期もありましたが、徐々に観客者数が戻りつつあります。後期アクションプランでは、リモート観戦しかしたことがない方などにも、町田市内でのスポーツ観戦に興味を持ってもらえるような取組が必要です。

前期アクションプランに関するスポーツ推進審議会からの方向性に関するご意見：

- ・新たにスポーツに関心を持つきっかけとなる情報発信に取り組む
- ・ホームタウンチーム等との連携をさらに強化し、トップスポーツの観戦機会を拡充する

指標	現状値 (2023)	目標値	整理番号	取組項目	取組内容	取組主体	連携先	指標	現状値 (2023)	2024	2025	2026	2027	2028 【目標値】
「町田市内でスポーツ観戦した」という回答の割合	12.2%	45%	(新規) 3-2-1	大規模大会等開催時のシティプロモーション	アクサプレイクップ ブラインドサッカー日本選手権や、Fリーグ ディヴィジョン1 ファイナルシーズン等の大規模大会開催や、事前キャンプの受け入れ等を契機として、町田市の認知度向上を目指し、シティプロモーションにつなげます。	スポーツ振興課	大会主催者等	-	実施	実施	実施	実施	実施	実施
			3-2-2	【再掲】 小学校連合体育大会の開催	市内全小学校が参加する連合体育大会を開催します。	教育委員会 指導課	スポーツ振興課	連合体育大会参加学校数	42校	42校	40校	39校	39校	38校
			3-2-3	パブリックビューイング等の実施	ホームタウンチームの試合や町田ゆかりのアスリートが国際大会や全国大会に出場する際など、パブリックビューイング等を実施し、オール町田の一体感を創出します。	ホームタウンチーム スポーツ振興課 広報課 公園緑地課 指定管理者	観光まちづくり課 観光コンベンション協会	年間実施回数	実施	実施	実施	実施	実施	実施
			その他 関連取組	スポーツ施設改修に伴う施設の機能向上（（野津田公園大型イベントにかかる環境整備、総合体育館改修））										

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり

スポーツの魅力を活用して地域の活性化、まちの魅力向上に取り組みます。ターゲットを明確化し、市民に的確にスポーツ情報を提供していくとともに、市内外にスポーツイベント等の情報を発信し、まちの魅力としてPRしていきます。

基本施策(1) スポーツ情報の発信：

スポーツに親しむ機会や場所についての情報を、市民の生活等の状況に応じて適切な方法を工夫して、提供していきます。また、町内会・自治会等とも連携し、スポーツになじみの薄い人に対してスポーツの魅力を伝えていきます。スポーツ施設周辺の地域に対しては、イベント等の情報発信を強化し、スポーツ施設を拠点とした地域のにぎわい創出にも取り組みます。

推進施策：

- ・ターゲットに合わせた効果的な情報発信
- ・スポーツになじみの薄い市民に対する積極的な情報発信

スポーツ推進審議会からご意見を踏まえた前期アクションプランの振り返り等：

前期アクションプランの期間においては、「ラグビーワールドカップ2019」や「東京2020オリンピック・パラリンピック大会」などを契機に、市が発信するスポーツ情報に興味を持つ方が増加する傾向が見受けられました。「町田市のスポーツ情報をどこから入手していますか」という質問に対しては、「広報まちだ」という回答が36.5%と最も高い結果となっています。スポーツ実施率が低い傾向にある40歳以下の若年層への働きかけにつながるよう、後期アクションプランではSNSの活用等も検討が必要です。

前期アクションプランに関するスポーツ推進審議会からの方向性に関するご意見：

- ・デジタルとアナログを併用し、効果的に情報を発信していく
- ・ホームタウンチーム等との連携をさらに強化し、情報を加速度的に広める工夫を行う
- ・新たにスポーツに関心を持つきっかけとなる情報発信に取り組む(再掲)

指標	現状値(2023)	目標値	整理番号	取組項目	取組内容	取組主体	連携先	指標	現状値	2024	2025	2026	2027	2028【目標値】
「市のスポーツに関わった」という回答の割合	48.3%	70%	4-1-1	【再掲】市内10地区のスポーツマップの更新・活用	地域のスポーツが楽しめる場所やスポーツ情報がまとめられた地図を更新し、市内の全小学生に配布します。後期ではさらに、スポーツ推進委員や地域スポーツクラブなどのスポーツ機会を提供する関係団体の情報をあわせて掲載します。	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員 公園緑地課 指定管理者	学校	新たな情報追加地区数	0地区	2地区	4地区	7地区	10地区	10地区
			(新規) 4-1-2	【再掲】ホームページやSNS等多様な媒体・手段を活用した運動動画等の情報発信	SNS等を情報源とする世代の方を主な対象とし、時間や場所を選ばずに行える運動動画や、スポーツ施設等の情報を発信することで、スポーツをする機会を持ちやすくなるよう働きかけます。その他、スポーツに関わる様々な情報を発信することで、スポーツ自体への関心が高まるよう働きかけます。	スポーツ振興課 指定管理者 ホームタウンチーム	商工会議所 市内企業	運動関連動画等の発信数	60件	60件	60件	60件	60件	60件

基本施策(2) スポーツを通じたシティプロモーション：

スポーツ施設におけるにぎわい創出に取り組むとともに大会・イベント等をまちの魅力として市内外にPRしていきます。ホームタウンチームや市内のスポーツ関係団体、学校、民間事業者等と連携・協働し、スポーツに関心を持つ市民を増やしていくことで、シティプロモーションのコンテンツとしてスポーツを位置付けていきます。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等の国際大会を通じたスポーツの気運やレガシーを継承し、まちの魅力向上に活かしていきます。

推進施策：

- ・市民全体のスポーツ気運の醸成
- ・市外居住者のスポーツを通じた来訪の促進
- ・国際大会事前キャンプ招致を通じた国際交流

スポーツ推進審議会からご意見を踏まえた前期アクションプランの振り返り等：

前期アクションプランの期間においては、「ラグビーワールドカップ2019」や「東京2020オリンピック・パラリンピック大会」などを契機に、事前キャンプの受け入れ等を実施することによりシティプロモーションにつなげる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、事前キャンプをはじめとする多くのイベントが実施困難となりました。後期アクションプランにおいては、オリパラのレガシーでもある関係国、関係団体との連携体制を活用し、シティプロモーションにつながる取り組みを実施していく必要があります。

前期アクションプランに関するスポーツ推進審議会からの方向性に関するご意見：

- ・ICTを活用したシティプロモーションにつながるスポーツ施策を推進する
- ・アフターコロナ・ウィズコロナ時代において、参加型のスポーツイベント等を計画的、かつ、効果的に実施する

指標	現状値(2023)	目標値	整理番号	取組項目	取組内容	取組主体	連携先	指標	現状値	2024	2025	2026	2027	2028【目標値】
地域活性化につながるスポーツ大会の開催数	2大会	2大会	4-2-1	ホームタウンチームと連携したPR活動	ホームタウンチームと連携し、スポーツ施設や駅周辺をチームカラーに装飾します。また、ホームタウンチームの地域活動を支援します。	スポーツ振興課 指定管理者	ホームタウンチーム 広報課 市有財産活用課 道路管理課 公園緑地課 観光まちづくり課 地元商店会 市民協働推進課 町内会自治会	-	実施	実施	実施	実施	実施	実施
			(新規) 4-2-2	【再掲】大規模大会等開催時のシティプロモーション	アクサブレイブカップ ブラインドサッカー日本選手権や、Fリーグ ディヴィジョン1 ファイナルシーズン等の大規模大会開催や、事前キャンプの受け入れ等を契機として、町田市の認知度向上を目指し、シティプロモーションにつなげます。	スポーツ振興課	大会主催者等	-	実施	実施	実施	実施	実施	実施
			(新規) 4-2-3	地域活性化につながるスポーツ大会の開催に向けた関連団体との連携強化	「ラグビーワールドカップ2019」や「東京2020オリンピック・パラリンピック大会」などを契機に築いた、関係国、関係団体との連携体制をさらに深めることで、大規模大会開催や事前キャンプ等招致に向けた連携強化を図ります。	スポーツ振興課	大会主催者 広報課 観光まちづくり課 観光コンベンション協会 体育協会 交通事業者 商店会	-	実施	実施	実施	実施	実施	実施